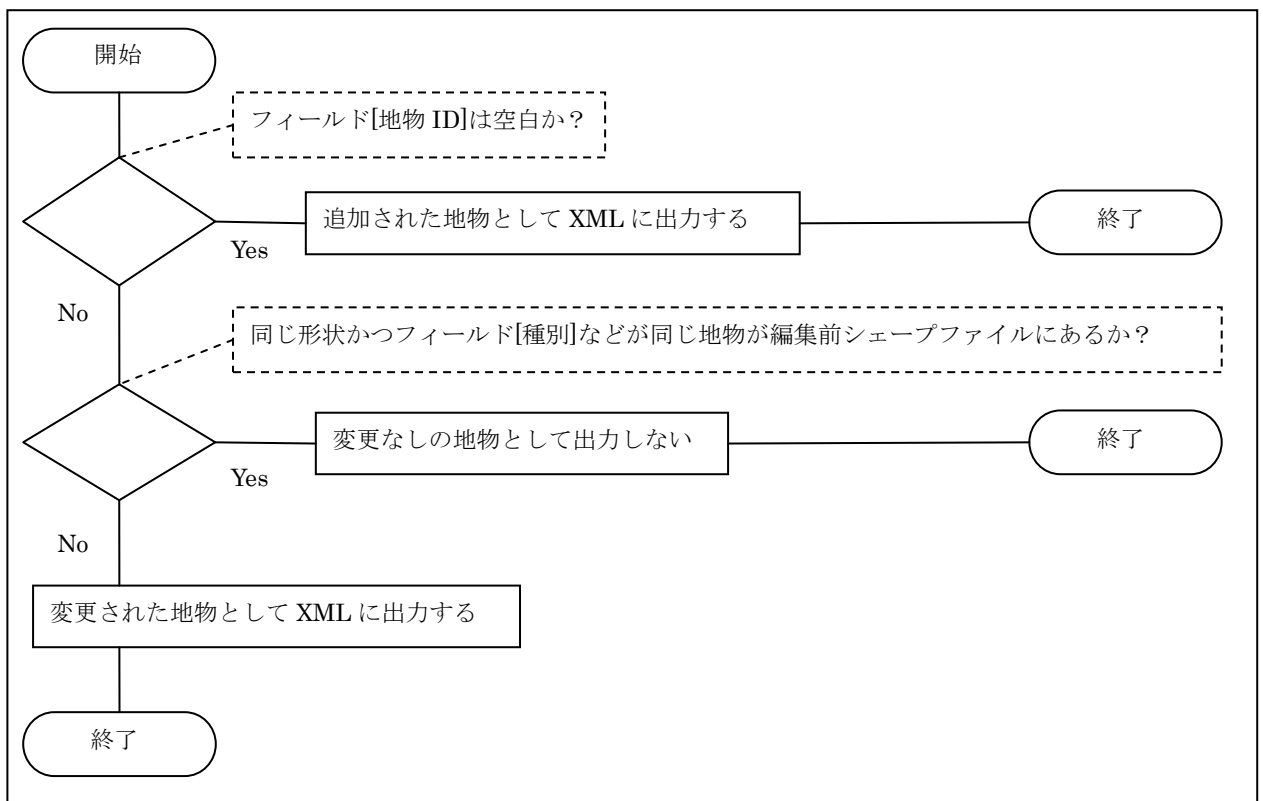


1. XMLファイルへ変換 2

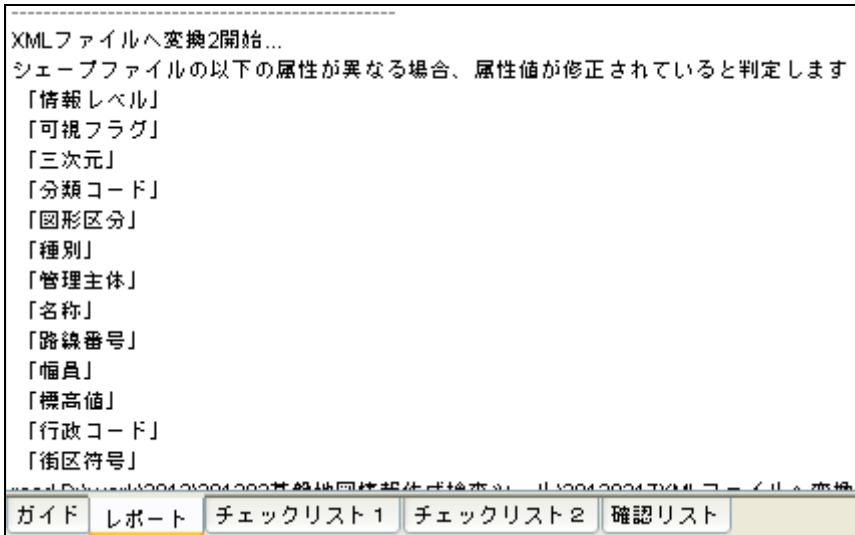
メニュー[基盤地図情報]-[XMLファイルへ変換 2]で、地物の属性が異なっている判定を「種別」のみから他のフィールドも参照するようにしました。また、追加・変更部分を出力する XML ファイル名について、市町村名の後に「_更新データ」を挿入します。

以下、説明書からの抜粋です。

「追加・変更された地物のみ出力」では、シェープファイルの各地物について、以下の処理を行います。シェープファイルのフィールド[地物 ID]が空白の場合、追加された地物として処理します。



「種別」などが同じかの判定で参照するフィールドはレポートパネルに表示します。



「追加・変更された地物のみ出力」では、出力する XML ファイルには、市町村名の後に「_更新データ」を挿入します。例「〇〇市_更新データ_建築物 001.xml」